

2008年11月6日(木)

株式会社 アドウェイズ
2009年3月期 第2四半期決算説明会

東証マザーズ (証券コード:2489)

ADWAYS

<http://www.adways.net/>

Copyright (C) ADWAYS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

第1章	第2四半期 決算実績	P. 3
第2章	売上高の分析	P. 7
第3章	業績予想について	P.15
第4章	下半期における取り組み	P.19
添付資料	会社概要	

第1章 第2四半期 決算実績

【連結】第2四半期 実績（4-9月-前年同期比）

（単位：百万円）

	2009年3月期2Q （自08年4月1日～ 至08年9月30日）		2008年3月期2Q （自07年4月1日～ 至07年9月30日）		増減 金額	増減率	構成比 差異
	金額	構成比	金額	構成比			
売上高	3,567	100.0%	2,158	100.0%	+1,409	+65.3%	-
売上総利益	782	21.9%	418	19.4%	+364	+87.1%	+2.6%
販売費及び 一般管理費	787	22.1%	694	32.2%	+93	+13.4%	▲10.1%
営業利益	▲4	▲0.1%	▲276	▲12.8%	+271	-	+12.7%
経常利益	▲1	▲0.1%	▲275	▲12.8%	+273	-	+12.7%
四半期純利益	▲22	▲0.6%	▲195	▲9.1%	+173	-	+8.4%

- ★ 売上高は、インターネットアフィリエイト広告事業の業績回復が続いたこと、モバイルアフィリエイト広告事業が成長を続けたこと、人員の戦力化などにより、前年同期比で65.3%上昇した。
- ★ 売上総利益は、売上高の増加により782百万円となり、前年同期より87.1%上昇した。
- ★ 販管費は、アドウェイズ・エンタテインメントの子会社化による一時的な費用により、93百万円増加したが、その他の費用の削減等により、前年同期に比べ、売上高構成比が10.1ポイント改善した。
- ★ 営業利益、経常利益、純利益は売上高の増加、費用の削減により、前年同期比で増加した。

【連結】第2四半期 実績（7-9月-前四半期比）

（単位：百万円）

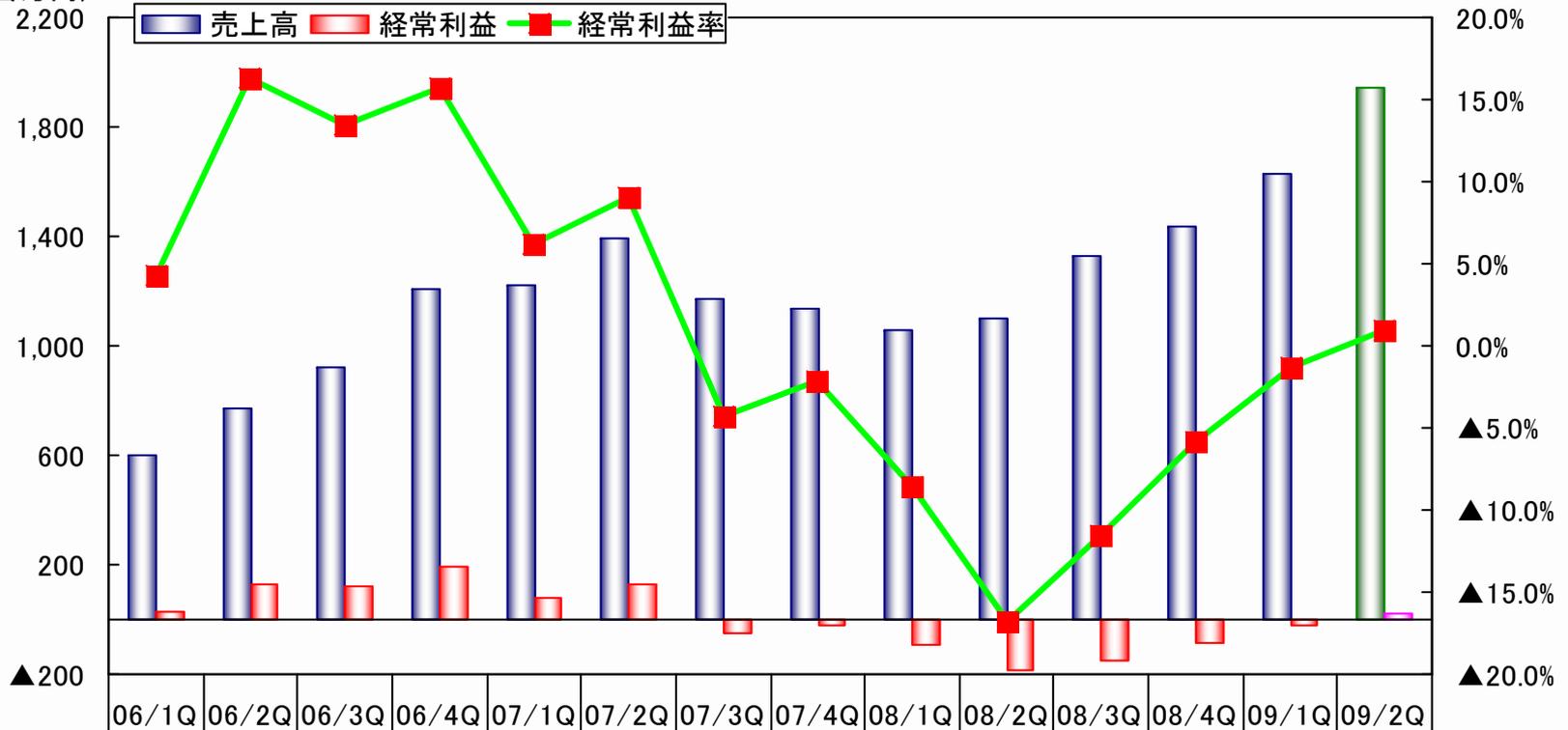
	2009年3月期2Q （自08年7月1日～ 至08年9月30日）		2009年3月期1Q （自08年4月1日～ 至08年6月30日）		増減 金額	増減率	構成比 差異
	金額	構成比	金額	構成比			
売上高	1,942	100.0%	1,625	100.0%	+316	+19.5%	-
売上総利益	432	22.3%	349	21.5%	+82	+23.7%	+0.8%
販売費及び 一般管理費	410	21.1%	377	23.2%	+32	+8.7%	▲2.1%
営業利益	22	1.2%	▲27	▲1.7%	+49	-	+2.8%
経常利益	19	1.0%	▲21	▲1.3%	+41	-	+2.4%
四半期純利益	2	0.1%	▲25	▲1.6%	+28	-	+1.7%

- ★ 売上高は、インターネットアフィリエイト広告事業の業績回復が続いたこと、モバイルアフィリエイト広告事業が成長を続けたこと、人員の戦力化などにより、前四半期比で316百万円増、19.5%上昇した。
- ★ 売上総利益は、売上高の増加に伴い、前四半期比23.7%上昇した。
- ★ 販管費は、アドウェイズ・エンタテインメントの子会社化等による一時的な経費の増加で、前四半期と比べ32百万円増加した。
- ★ 営業利益、経常利益、純利益は、それぞれ前四半期比で増加し、四半期で黒字化した。

【連結】四半期毎売上高推移

売上高は5四半期連続で増加を続け、今四半期も四半期別で過去最高の売上高を記録した。
 経常利益は、07年2Q以来8四半期ぶりの黒字となった。

(単位: 百万円)

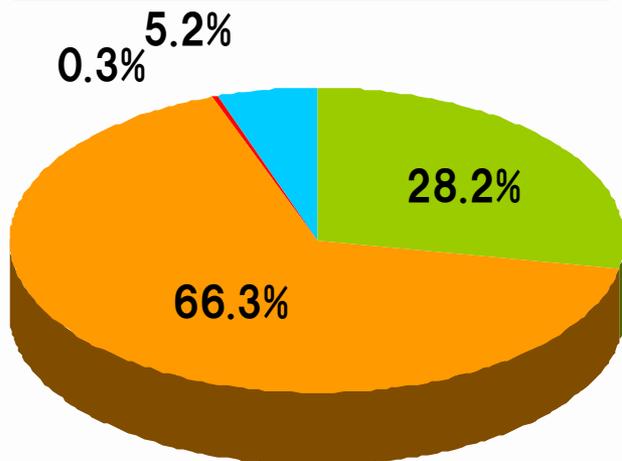
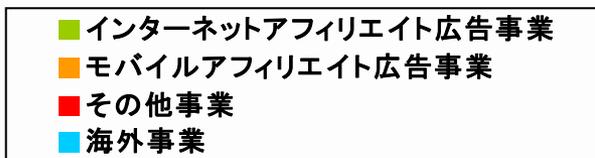


■ 売上高	602	768	923	1,206	1,218	1,390	1,172	1,138	1,057	1,101	1,325	1,434	1,625	1,942
■ 経常利益	26	125	124	190	75	126	-49	-23	-91	-184	-153	-83	-21	19
■ 経常利益率	4.3%	16.3%	13.4%	15.7%	6.2%	9.1%	-4.3%	-2.1%	-8.6%	-16.7%	-11.6%	-5.8%	-1.3%	1.0%

第2章 売上高の分析

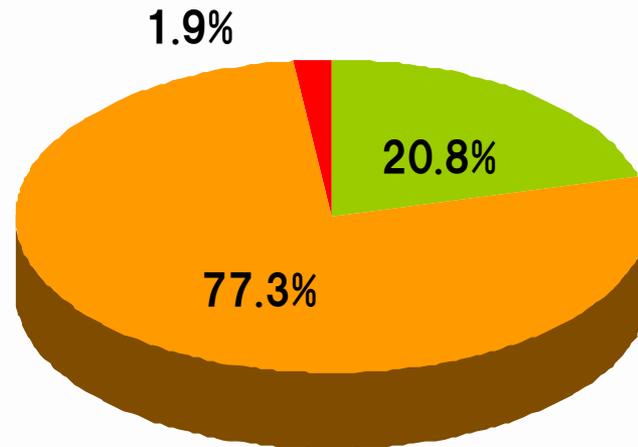
【連結】セグメント別売上高・営業利益

売上高構成比率



09年3月期2Q 連結売上高: 1,942百万円

営業利益構成比率



09年3月期2Q 連結営業利益: 22百万円

【単体】業種別売上構成(アフィリエイト広告事業)

●業種別売上高

(単位:百万円)

	09/2Q (7-9月)		09/1Q (4-6月)		増減 金額	08/2Q (7-9月)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
オンラインサービス業界	840	50.3%	835	53.6%	+5	597	47.3%
金融業界	374	22.4%	373	23.9%	+1	242	22.6%
コスメ・ペット・その他業界	454	27.2%	350	22.5%	+104	323	30.1%
合計	1,668	-	1,558	-	+110	1,072	-

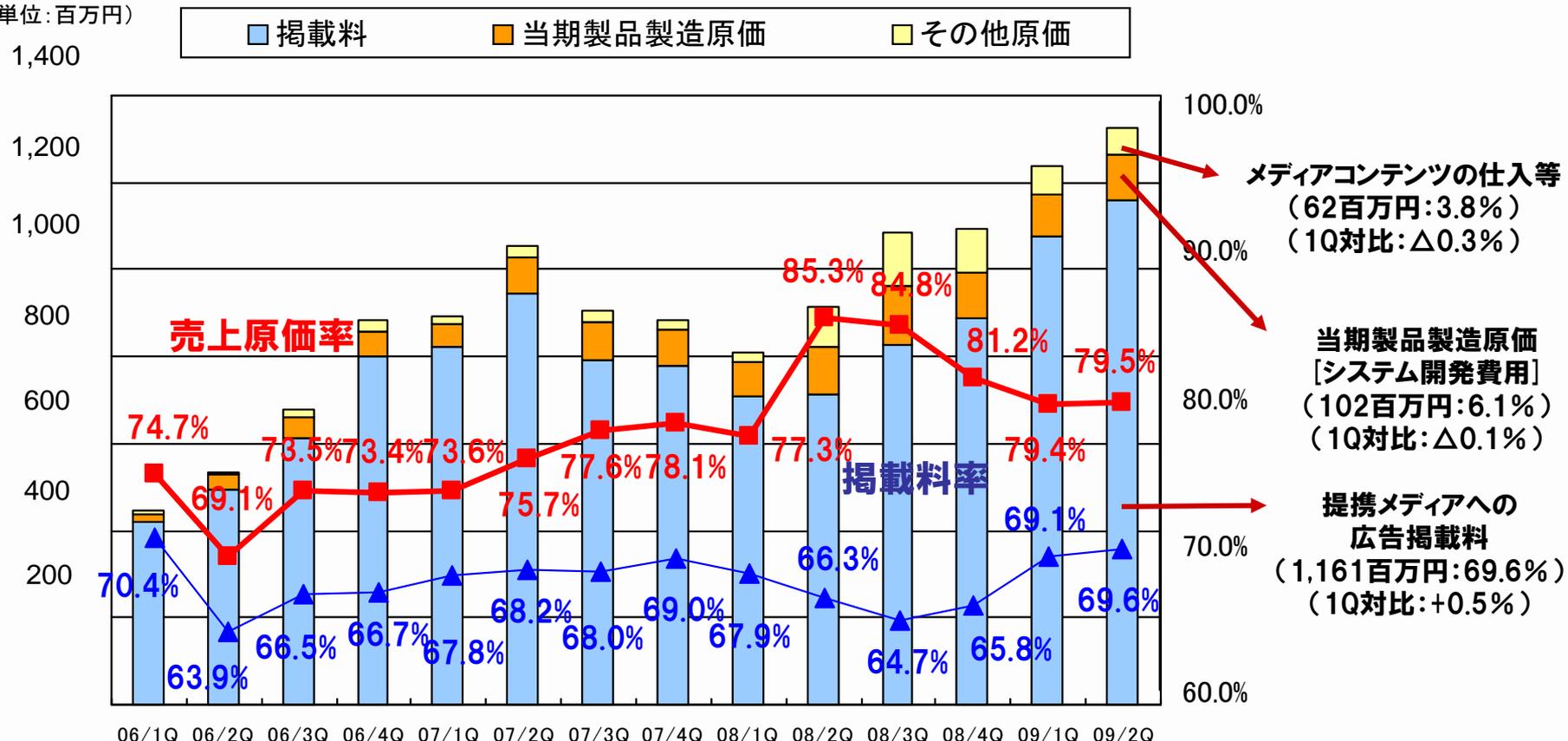
※オンラインサービス業界とは、インターネットやモバイルで事業を行っている会社。いわゆるネット系の会社です。

- ★ 2Qは、カテゴリ集中戦略により、コスメ・ペット・その他業界の売上高が大きく増加した。
オンラインサービス業界、金融業界は微増となった。

【単体】売上原価構成比の推移

単体での売上原価率は、前四半期比で横ばいに推移したが、連結では、0.8ポイント改善した。

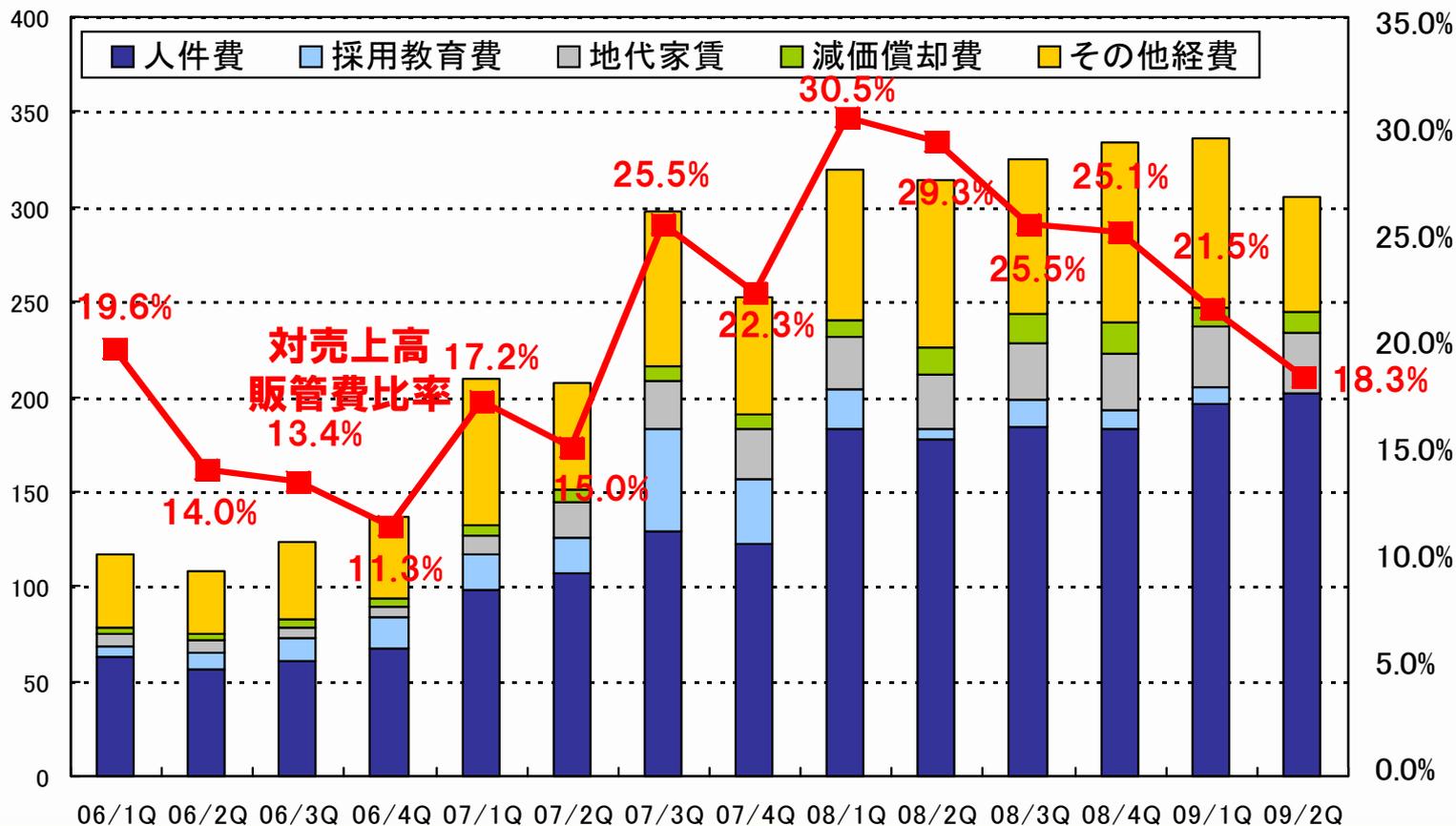
(単位:百万円)



【単体】販管費の推移

前四半期比では、連結2.1ポイント、単体3.2ポイント、対売上高販管費率が改善した。

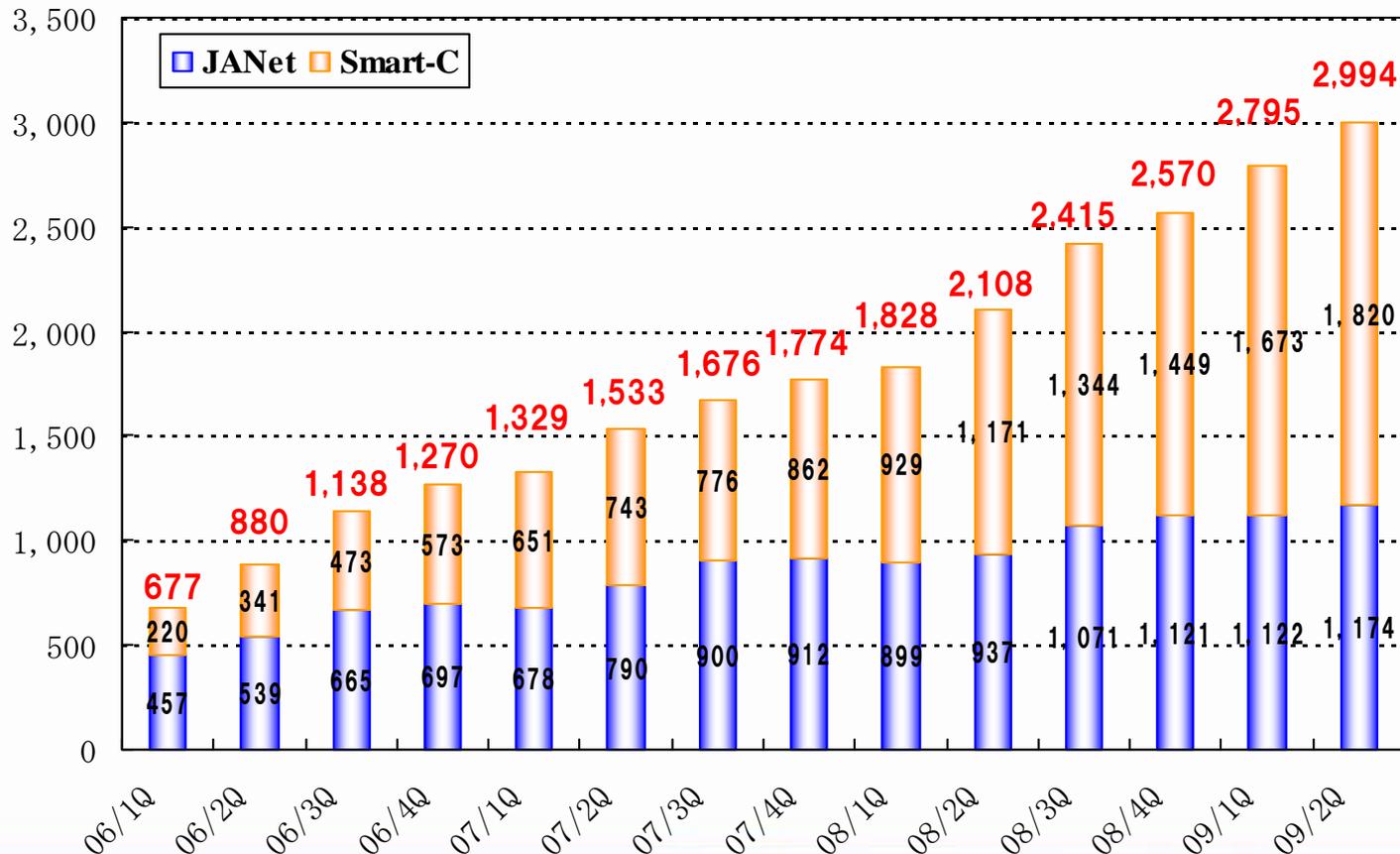
(単位:百万円)



【単体】クライアント数推移

2Qのクライアント数は順調に増加した。
特に、モバイルアフィリエイト(Smart-C)のクライアント数が増加している。

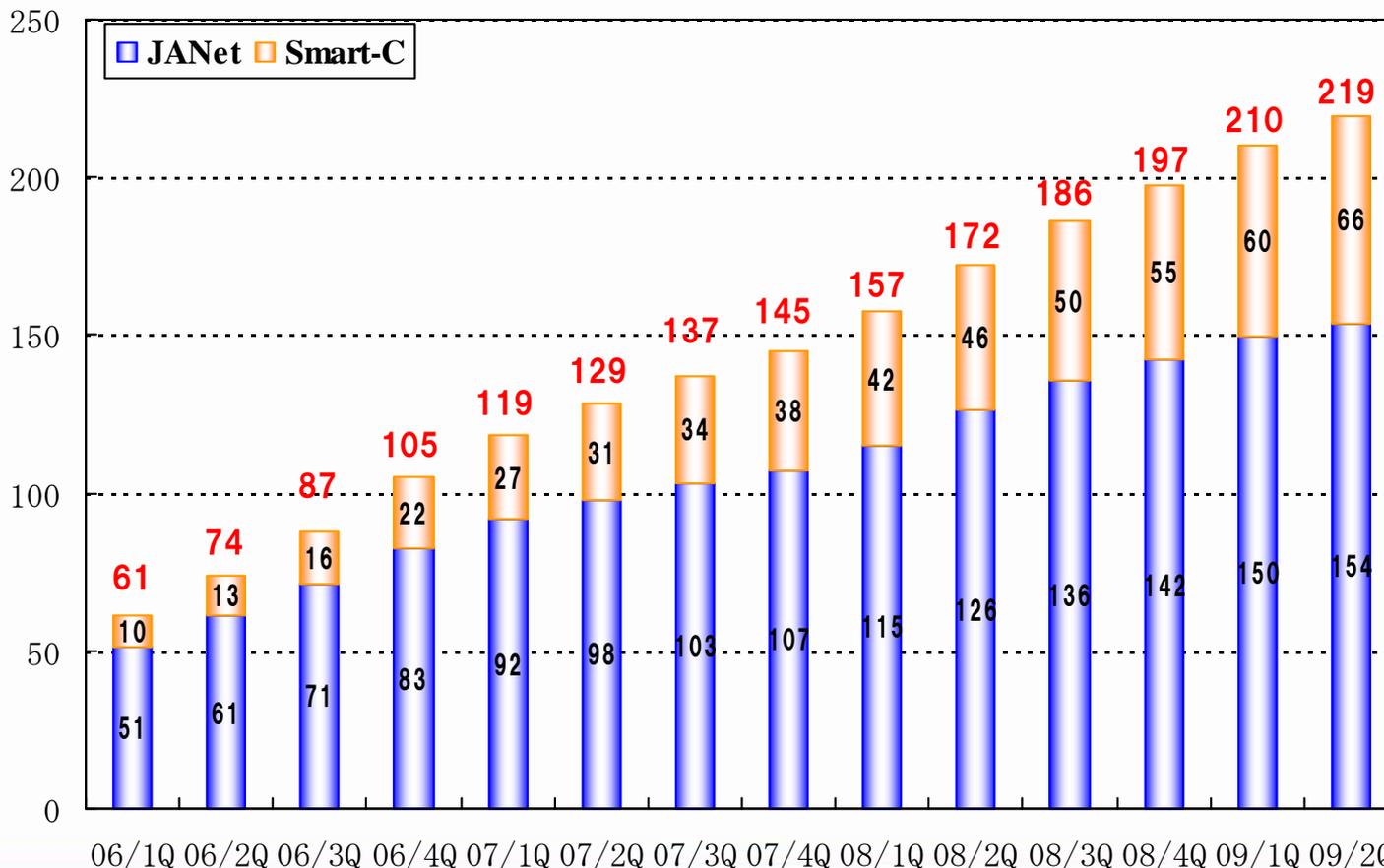
(単位：クライアント)



【単体】メディア数推移

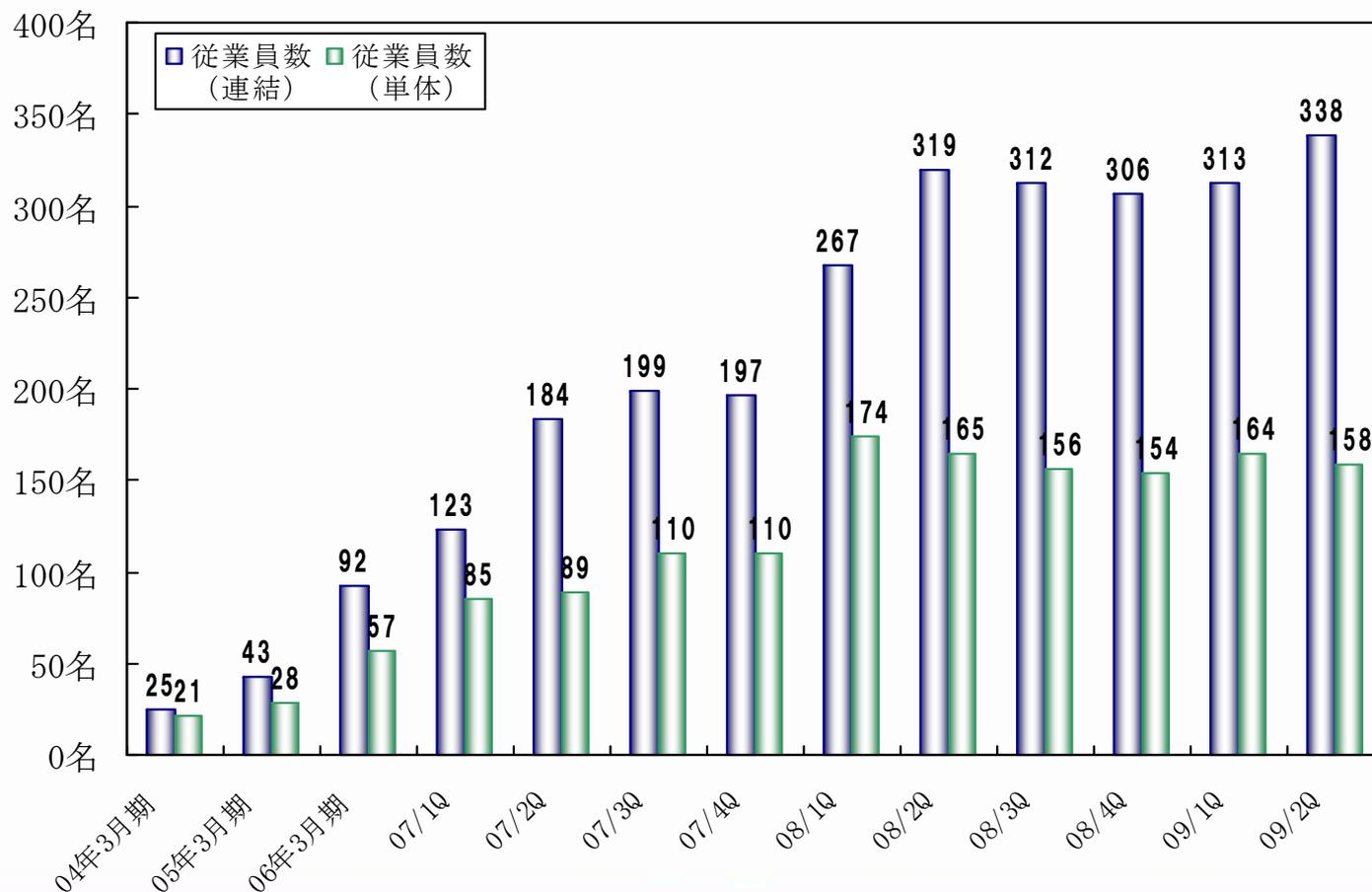
インターネットアフィリエイト(JANet)、モバイルアフィリエイト(Smart-C)ともに2Qのメディア数は順調に増加している。

(単位：千サイト)



従業員数推移

アドウェイズ・エンタテインメントの子会社化により人員は増加した。



第3章 業績予想について

【連結】四半期毎の実績推移

売上高の増加、売上総利益の改善、費用の削減が進み、営業利益が増加し続けている。

■直近1年間の実績推移(連結)[08年3月期2Q～09年3月期2Q]

(単位:百万円)

	売上高	売上総利益	売上総利益率	販管費	対売上高販管費率	営業利益	営業利益増加額
08年2Q	1,101	163	14.9%	346	31.5%	▲183	—
08年3Q	1,325	211	15.9%	367	27.7%	▲156	27
08年4Q	1,434	299	20.9%	384	26.8%	▲85	71
09年1Q	1,625	349	21.5%	377	23.2%	▲27	58
09年2Q	1,942	432	22.2%	410	21.1%	22	49

120%
成長!

108%
成長!

113%
成長!

129%
成長!

- ★ 売上高は、インターネット・モバイルの両アフィリエイト広告事業が順調に拡大していることにより、08年2Qから09年2Qで190%の成長率で拡大中。
- ★ 対売上高販管費率は、費用の削減と、人材採用の抑制などにより、08年2Qより10.4ポイントと大幅に低下し、改善が顕著に現れている。

【連結】2009年3月期通期業績予想

■2009年3月期 通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2009年3月期上半期実績 (A)	3,567	▲4	▲1	▲22
2009年3月期下半期業績予想 (B)	3,733	109	111	112
今回2009年3月期予想 (C) (A+B)	7,300	105	110	90
前回2009年3月期予想 (D)	6,257	0 ~ 100	0 ~ 110	0 ~ 73
増減額 (C-D)	1,043	105 5	110 0	90 17

参考: 2008年3月期実績	4,918	▲517	▲513	▲495
-------------------	-------	------	------	------

注意)当社は、個別業績予想の公表を省略しております。

【連結】業績予想に関する計画

■09年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
2009年3月期上半期実績	3,567	▲4
2009年3月期下半期業績予想	3,733	109

売上総利益率は1.7ポイント・対売上販管費率は1.4ポイントの改善計画

各事業部の利益率改善と組織体制の整備による費用の削減を行い、利益率・販管費率の改善を図る。

■09年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	売上高	売上総利益	売上総利益率	販管費	対売上高販管費率	営業利益
2009年3月期上半期実績(A)	3,567	782	21.9%	787	22.1%	▲4
2009年3月期下半期業績予想(B)	3,733	882	23.6%	773	20.7%	109
2009年3月期通期業績予想(A+B)	7,300	1,664	22.7%	1,560	21.4%	105

第4章 下半期における取り組み

2009年3月期－下半期の取組み－

1. カテゴリ集中戦略(インターネット事業)

クライアントを得意ジャンルに絞ることで、業務の効率化を進め、利益率の向上を図る。

2. 提供サービスの総合化(モバイル事業)

「Smart-C」のみの販売にとどまらず、純広告、リスティング広告、モバイルSEOサービス・
など提供サービスの拡大を図り総合的な提案を目指す。

3. 販管費の削減

子会社等の組織体制を整備し、業務の効率化・販管費の削減を図る。

1. カテゴリ集中戦略(インターネット事業)

カテゴリ集中戦略が順調であるため、さらに戦略を強化し、
業務の効率化・利益率の向上を図っていく。

カテゴリー集中戦略

集中カテゴリは以下の4ジャンル

ゲーム

コスメ

ペット

金融

ROSE POINT ISLAND

●ゲームサイトへの
ポイントコーナーOEM設置

LIPSTA COSME

"word of mouth" studio

●コスメ関連情報サイトの開設

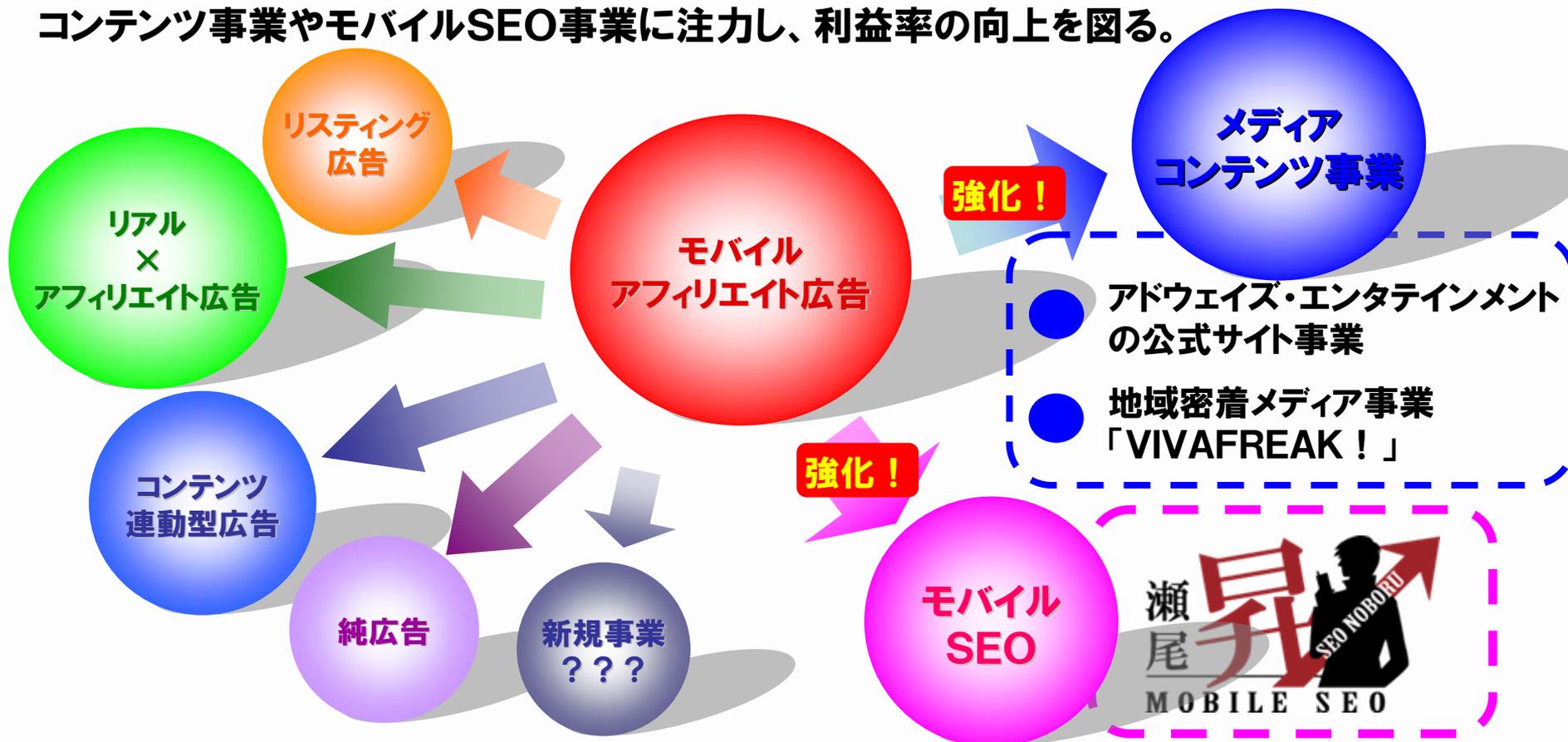


ウェブマネーポイントパーク

●PC・モバイル両電子マネーサイト
へのポイントコーナーOEM設置

2. 提供サービスの総合化(モバイル事業)

総合化戦略が成功し、売上が拡大した。今後はそれに加え、利益率の高いメディアコンテンツ事業やモバイルSEO事業に注力し、利益率の向上を図る。



クライアントのニーズに対応し、総合的な提案を展開する！

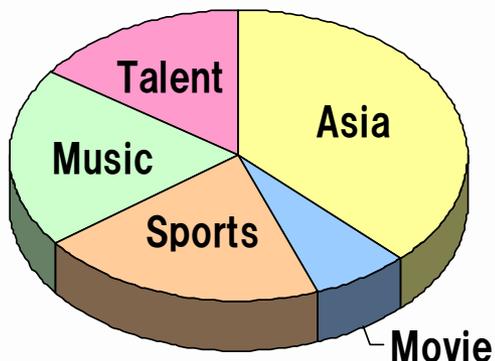
2. 提供サービスの総合化

アドウェイズ・エンタテインメント

携帯キャリアの公式サイト製作・運営を行っている。

運営サイトは、Asia・Movie・Sports・Music・Talentの5セクションに分けられ、平成20年9月末時点で、約100サイト、会員数は約35万人となっている。

サイト数構成比率



(平成20年9月末時点)

アドウェイズ

マーケティング

アドウェイズのマーケティング手法とアドウェイズ・エンタテインメントのエンタメ系ノウハウを掛け合わせ、利益率の向上を図る

エンタメ

アドウェイズ・エンタテインメント

Asia

リュ・シウォン等の韓流スターの公式サイトを中心に運営。

Movie

映画情報サイトの運営。映像動画などを配信している。

Sports

フットサルやテニスなどサイト。コラムや誌面連動型企画等。

Music

音楽情報サイトや各アーティストの公式ファンサイトを運営。

Talent

サンミュージック等のプロダクションやタレントの公式サイト。

2. 提供サービスの総合化

完全成果報酬型モバイルSEOサービス
「瀬尾 昇」



《「瀬尾 昇」4つの強み》

- 『リーズナブル』なサービス
- 上位表示だけではなく、コンバージョン志向でのコンサルティング
- 内部施策と外部施策、双方からのSEO強化
- フレキシブルにクライアントの予算感に合った価格の実現

地域密着メディア事業

地域密着エンターテイメント
フリーマガジン
「VIVAFREAK！」
発行部数24万部



VIVAFREAK! 掲載
店舗を「まいぷれ」に
も掲載する

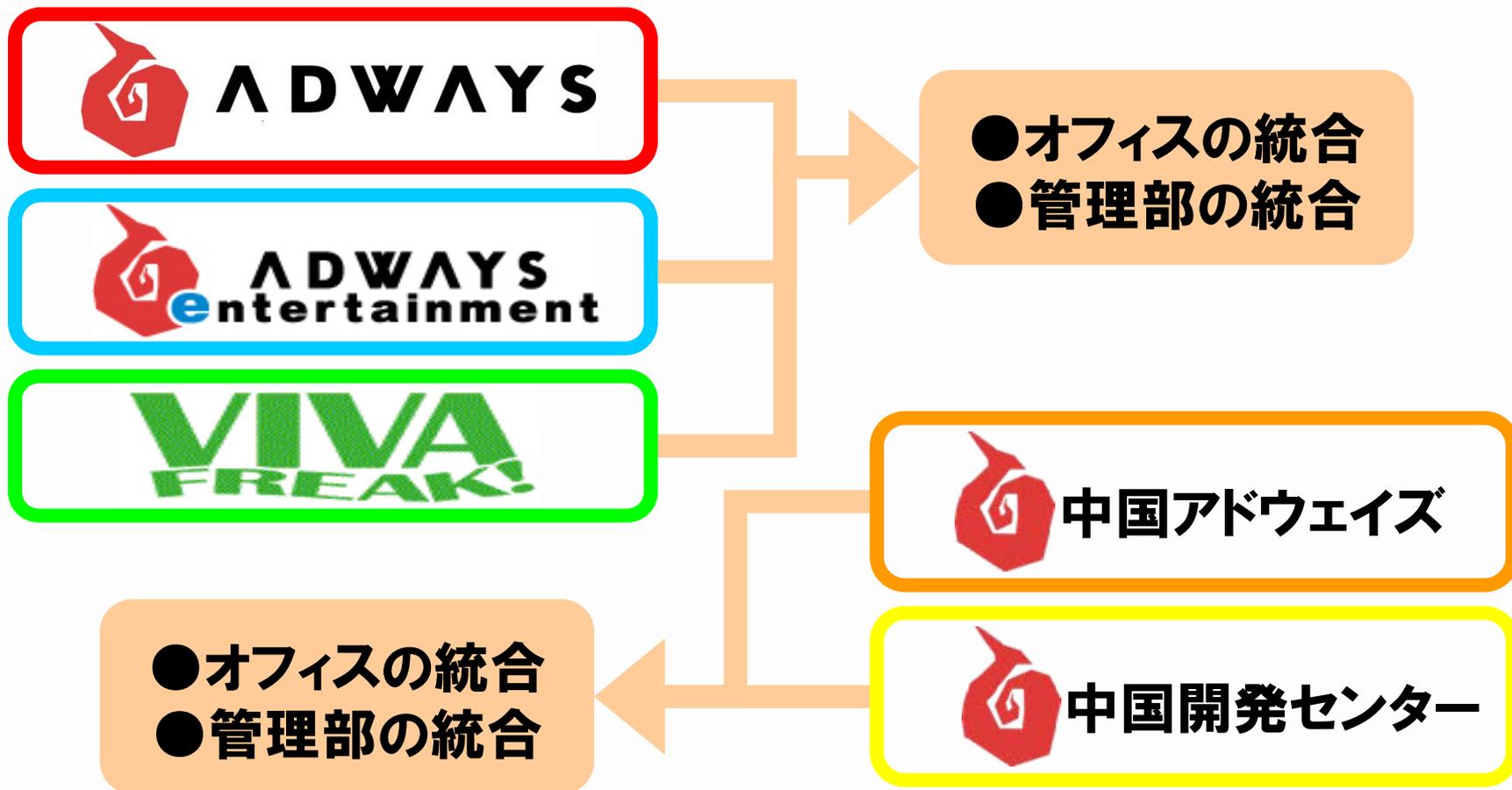
ポイントサービス等で
VIVAFREAK!
と連動させる



地域密着ポータルサイト「まいぷれ」

3. 販管費の削減

組織体制を整備し、業務の効率化と販管費の削減を図る。



本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。

既に知られたもしくははまだに知られていないリスク、不確かさその他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

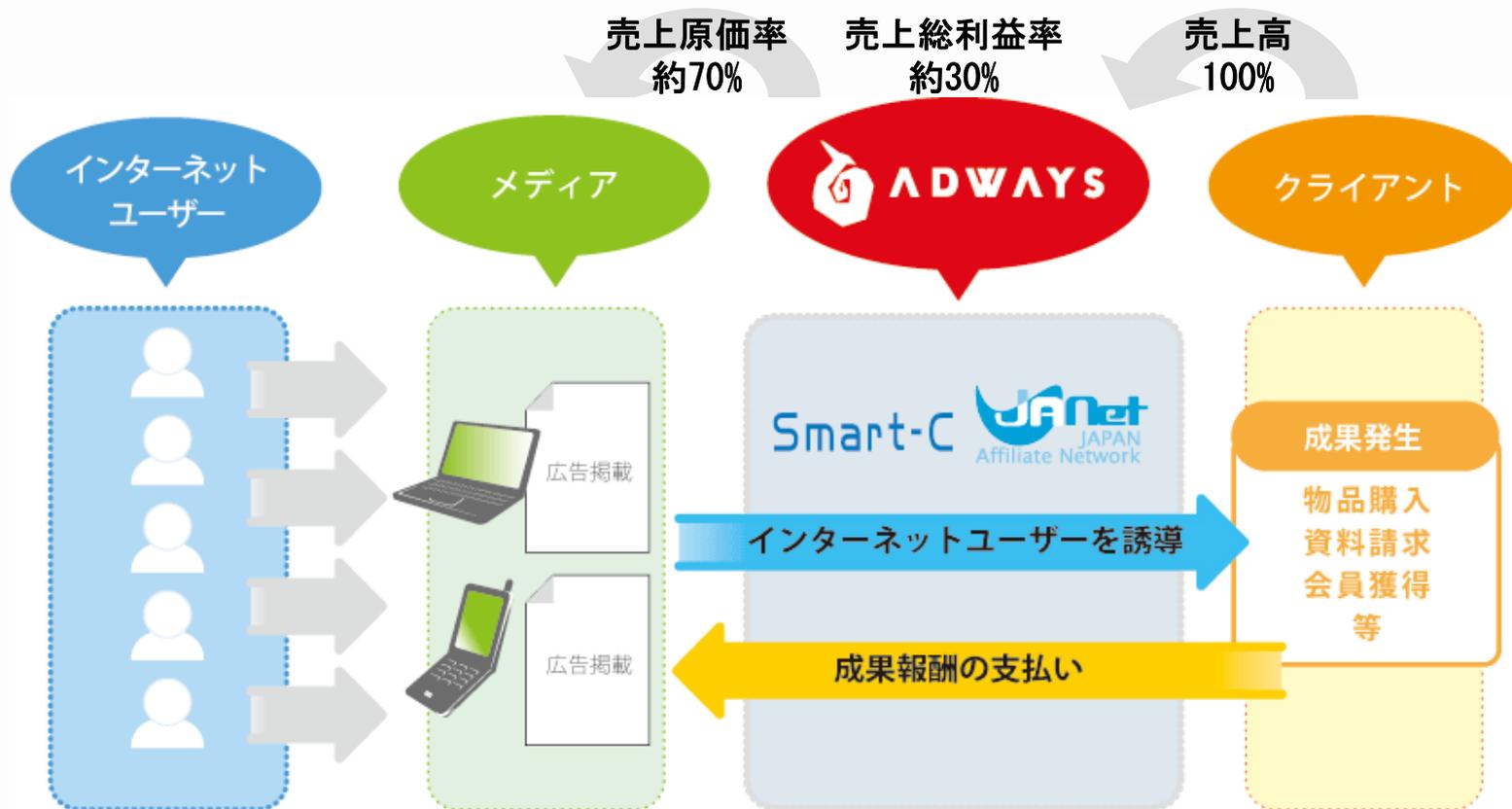
本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2008年11月6日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

添付資料 会社概要

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ(英名:Adways Co., Ltd.)	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	アフィリエイト広告事業(成果報酬型広告事業)	
代表者氏名	岡村 陽久	
資本金	1,467百万円	[2008年3月末日現在]
売上高	4,918百万円	[2008年3月末日現在]
従業員数	338名(臨時雇用者除く)	[2008年9月末日現在]

アフィリエイト広告のビジネスモデル

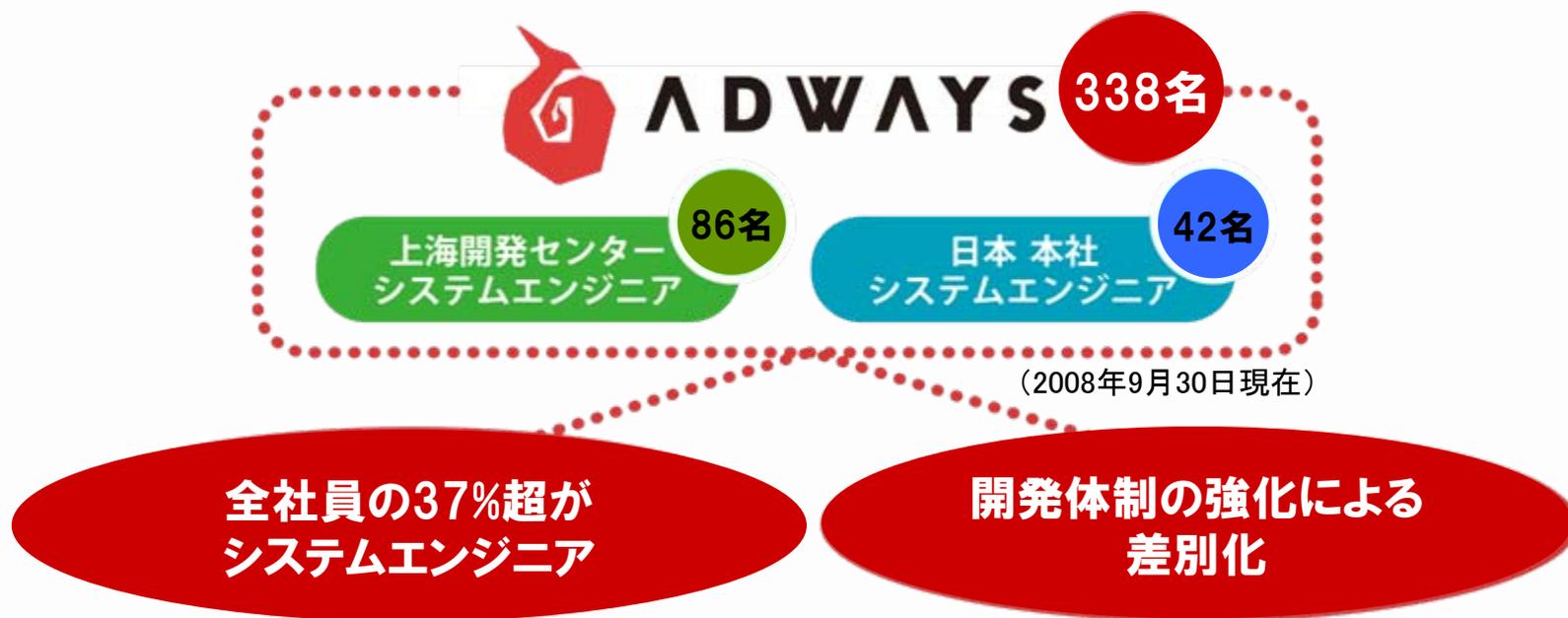


主なサービスラインアップ

当社は他社に先駆けいち早く海外でアフィリエイト広告事業を展開

			2001年 3月期	2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
アフィリエイト広告事業	日本	インターネット		01年 4月	開始		03年 8月	JANet JAPAN Affiliate Network ブランド名を「JANet」に変更			
		モバイル		01年 8月	開始		04年 2月	Smart-C ブランド名を「Smart-C」に変更			
	中国	インターネット						05年 3月	CHANet 開始		
		モバイル							06年 8月	無限点击 WAPclick 開始	
	英国	モバイル								09年 9月	開始

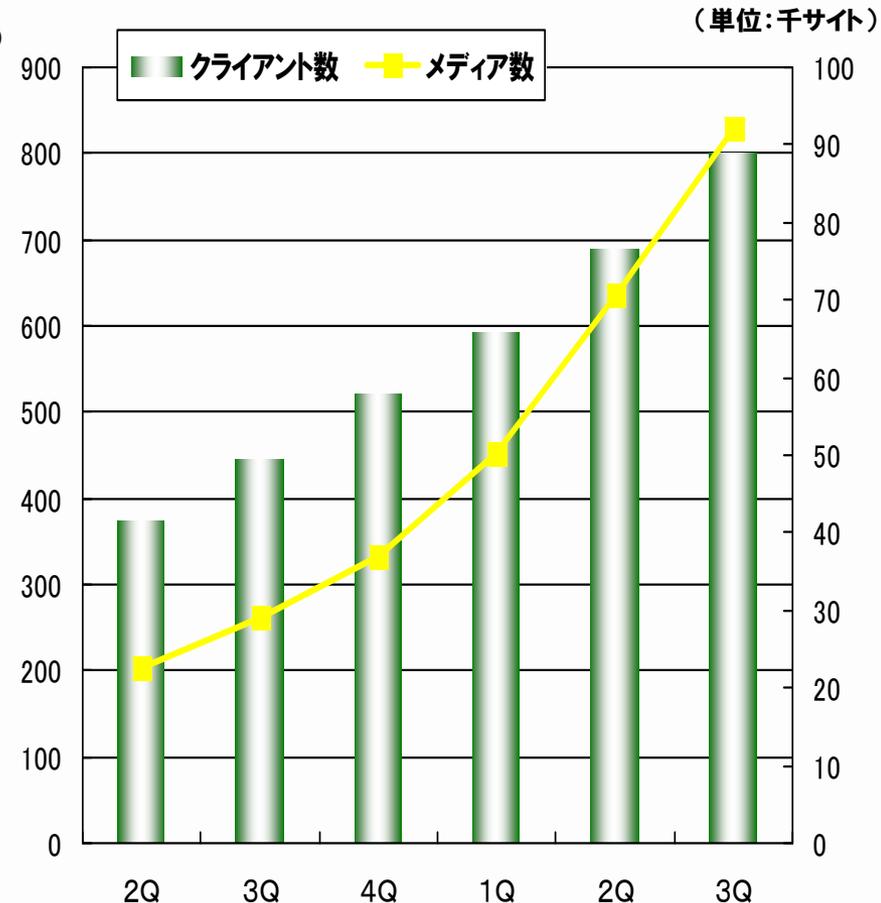
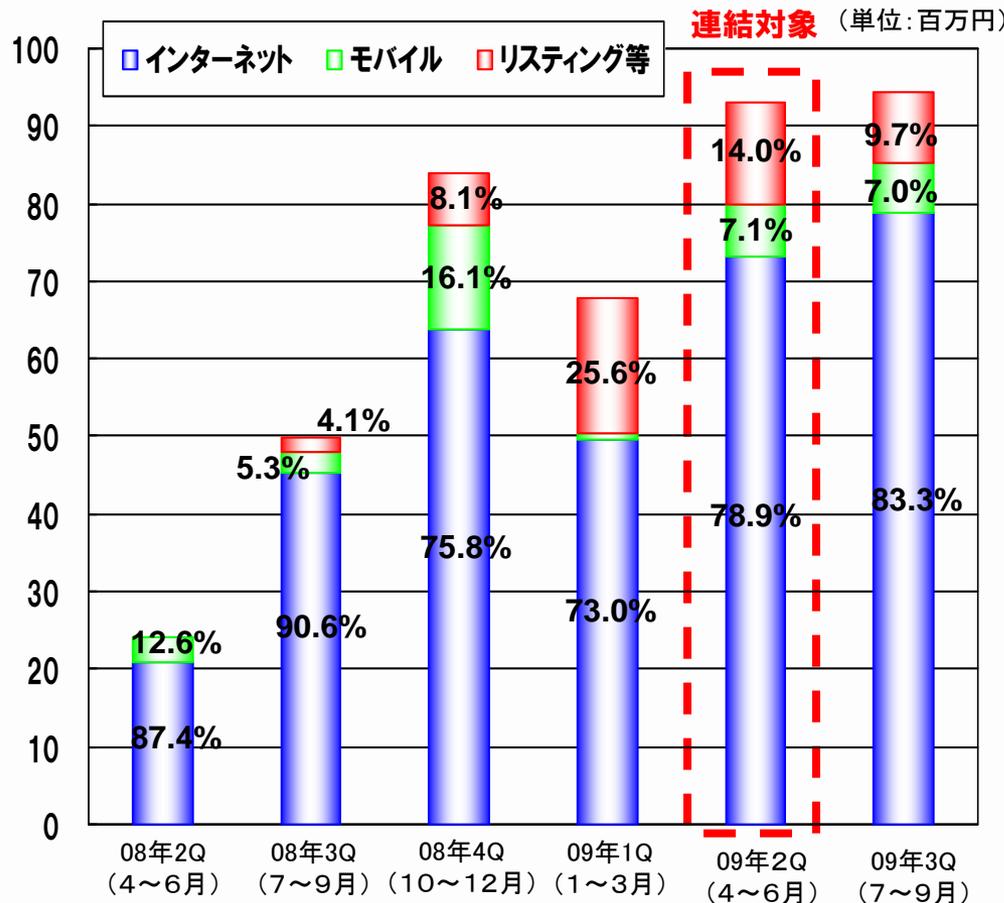
システム開発体制



- 事業規模の拡大に合わせたシステムエンジニアの増強
- 開発のスピード、開発の柔軟性、開発のコスト

海外事業について — 中国事業09年3月売上高 —

売上高は微増となったものの、クライアント数、メディア数は順調に増加している。



※中国子会社の決算期は12月のため、当グループにおける第2四半期の決算対象は4~6月となります。

海外事業について — 英国事業報告 —

UK BUSINESS



AdVehicle

- **β版サービスからの調整・改善・機能追加等を経て、11月初旬に本格的なサービス開始を予定**
- **広告主用管理画面の操作の円滑化・管理データ情報の充実などユーザビリティを高める施策をサービス開始とともに投入**
- **マンガやアニメといった英語圏での需要の高い日系プロモーションを足掛かりに事業の拡大を図る**

映画「イエスタデイズ」概要

主に映画製作・映像コンテンツの製作を行っていく
アドウェイズ・エンタテインメント映像製作事業としての映画第1作目

40万部を超えるベストセラーとなった本多孝好原作の「FINE DAYS」に
収録の「イエスタデイズ」を映画化

監督:窪田崇 脚本:清水友佳子

出演:塚本高史、國村隼に加え、和田聰宏、原田夏希、高橋 恵子、風吹ジュン

2008年11月1日 全国公開



公式サイト

<http://www.yesterdays-movie.com/>



経営ビジョン

PC・モバイルメディアだけでなく、あらゆるメディアにアフィリエイト広告を拡大させ、アフィリエイト広告を日本・中国・英国だけでなく、全世界に浸透させる。

